

今回は、外科長の菅野博隆医師にお話を聞いてみましょう。



Q▶ 外科ではどのようなことを行っているのでしょうか。

A▶ 当科では肺、乳線・甲状腺、消化器、ヘルニア、小児の手術治療を中心に、抗がん剤治療、緩和療法、胸部・腹部外傷や救急医療、痔の外来治療、腸閉塞治療などを行っています。

最近では術前の栄養管理やリハビリ、開腹手術に比べて患者さんの負担を少なくする内視鏡下手術、術後ケア・リハビリにも力を入れており、近年増加している高齢者や様々な病気をお持ちの患者さんでも安全な外科治療を目指しています。

Q▶ 他に力を入れている治療について教えてください。

A▶ 当科ではがん治療にも注力しています。他職種と協力しチーム医療を行うことで、術前から手術時、術後まで切れ目なく、また再発した場合でも、がんの患者さんを継続して治療することを重視しています。

【術前】

- ・抗がん剤治療
- ・消化器内科、放射線科、病理診断科と連携した術前検査

【手術時・術後】

- ・患者さんの症状に合わせた手術方法の選択
- ・集中治療科と連携した術後管理
- ・術後や再発、転移した患者さんの抗がん剤治療
- ・痛みや苦痛を和らげるための緩和療法
- ・がんリハビリ ・在宅療法

など